

社会的インパクト評価ツールセット 教育

Version 2.0

2017 年 6 月 29 日

GSG 国内諮問委員会

社会的インパクト評価ワーキング・グループ

I. はじめに

本評価ツールでは「教育」を分野として取り上げています。教育分野における事業は多岐に亘りますが、本評価ツールが対象とする「教育」事業とは、学校での学習支援やキャリア教育支援を行う事業や、学校外での学習支援事業、子ども・大人の居場所づくり事業、不登校やニート、引きこもりに対する支援事業を行う事業者へのインタビューをもとに作成しており、これらの事業に関わる方々を利用者として想定しています。

Ver2.0 では、上記の事業にかかわる事業者の方や有識者の方からのご意見をいただき、社会情動的能力に関するアウトカムを中心に、アウトカムや指標・測定方法の適切性・漏れの確認・改訂を行いました。

なお、以降では「ロジック・モデル」、「アウトカム」や「アウトプット」といった用語を使用していますが、定義については社会的インパクト評価ツールセット実践マニュアルを参照して下さい。

II. ロジック・モデルをつくる

社会的インパクト評価ツールセット実践マニュアル 「Step 1: ロジック・モデルをつくる」 参照

II.1. 事業の目標と受益者の特定

本評価ツールでは、対象事業となる学習支援等の最終的な目標を、支援対象である「子ども」が将来的に経済的・精神的に自立するとともに、社会の一員として社会参加をしてゆくこととしました。したがって、事業の主な受益者を「子ども」としています。

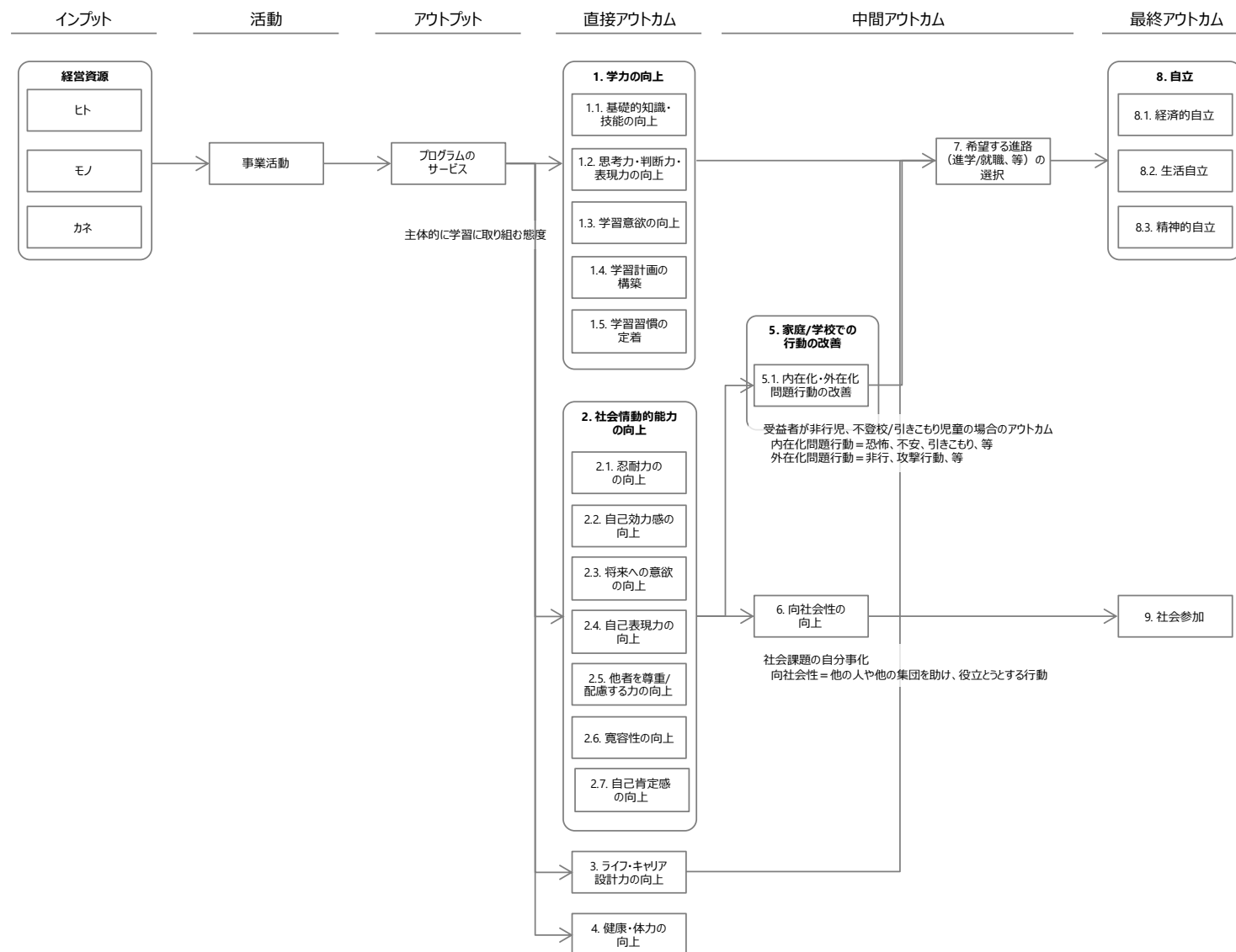
ただし、教育分野における事業では、「親」や「事業の担い手」など他のステークホルダーも受益者になりえます。本評価ツールでは「子ども」に焦点を当てていますが、親や事業の担い手などが重要なステークホルダーであることを否定するものではありません。主たる受益者が「子ども」であっても、親をはじめとした子どもにかかわる「大人」に働きかけることが、目指す「子ども」の変化を実現する上で重要な場合もあります。本評価ツールでは、「子ども」に関わるアウトカムしか扱っていませんが、実務では、「子ども」以外のステークホルダーの観点から、必要なアウトカム、その実現のために必要な活動やアウトプットを検討することをおすすめします。

II.2. アウトカム（成果）のロジックを考える

事業の成果・効果を評価し事業改善や説明責任の遂行につなげてゆくためには、事業の設計図ともいえる「ロジック・モデル」を検討し明確化する必要があります。「ロジック・モデル」とは、事業や組織が最終的に目指す変化・効果の実現に向けた道筋を体系的に図示化したものです。図表1では、本評価ツールを作成するにあたってインタビューを実施した事業者や有識者の方へのインタビュー結果を基に作成した、ロジック・モデルの例です。「子ども」の自立や社会参加を実現するために必要だと考えられるアウトカムの例を示しています。II.2.1以降で、アウトカムについて具体的に説明します。

なお、本評価ツールは、多くの団体で難しさを抱えているアウトカムの評価を支援することを主な目的としているため、「アウトプット」の評価についてはあまり触れていません。「アウトプット」とは、事業活動を通じて提供するモノやサービスを指し（例えば学習支援事業では講師による学習支援プログラムの提供）、その評価は学習支援プログラムを実施した回数やプログラムを受けた子供の数（量の側面）や、その内容に関する子供の満足度（質の側面）などを通じて行われます。事業改善や説明責任の遂行のためには、この「アウトプット」の評価も重要である点は留意して下さい。

図表 1: 教育分野におけるロジック・モデルの例



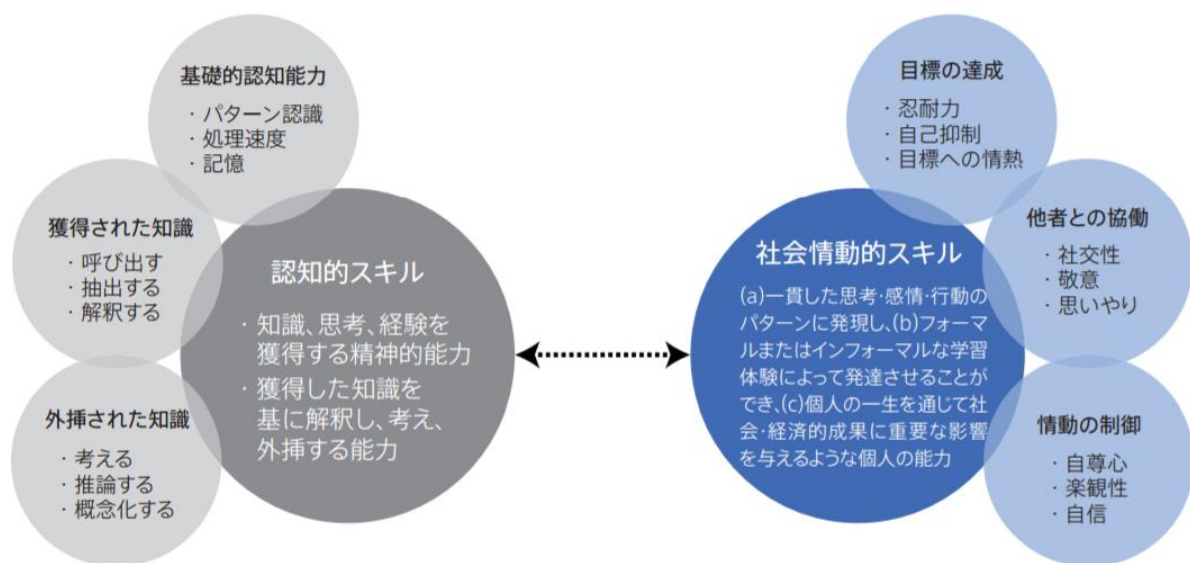
II.2.1. アウトカム

直接アウトカムは、事業の結果として直接的に発生する変化を指します。教育分野における事業の結果として期待される直接アウトカムは、大きく分けて「学力の向上」と「社会情動的能力の向上」に整理することができます。

「学力の向上」は、特に学習支援事業における主要なアウトカムであり、具体的には「基礎的知識・技能の向上」、「思考力・判断力・表現力の向上」、「学習意欲の向上」の3つに分解することができます¹。さらに、支援プログラムの内容によっては、「学習計画の構築」や「学習習慣の定着」も同様に重要なアウトカムとなります。

非認知能力とも呼ばれる「社会情動的能力」には様々なものが含まれますが、OECD では「社会情動的能力」をさらに「目標の達成」にかかわるもの、「他者との協働」にかかわるもの、「情動の制御」にかかわるものの3つに整理しています（図表2）。

図表 2: 社会情動的能力の概念



出所：OECD、ベネッセ教育総合研究所訳（2015）「家庭、学校、地域社会における社会情動的能力の育成：国際的エビデンスのまとめと日本の教育実践・研究に対する示唆」

¹ 現行の学習指導要領の学習指導要領では、「基礎的・基本的な知識・技能」、「知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」を学力の重要な3つの要素としています（http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1300857.htm）。

本評価ツールでは、事業者とのインタビューの中でも重要なアウトカムとして挙げられた「忍耐力の向上」、「自己効力感（Self-efficacy）の向上」、「将来への意欲の向上」、「自己表現力の向上」、「他者を尊重/配慮する力の向上」、「寛容性の向上」、「自己肯定感（Self-esteem）の向上」、を特に取り上げています²。

「学力の向上」や「社会情動的能力の向上」のほかには、例えばキャリア教育を行う事業では「ライフ・キャリア設計力の向上」が、スポーツを通じた支援事業では「健康・体力の向上」も、直接アウトカムになると考えられます。

II.2.2. 中間アウトカム

上記の直接アウトカムの結果として期待される、学校内外での学習支援や社会教育、キャリア教育、不登校児支援の中間アウトカムとしては、「希望する進路の選択」が設定されます。なお、「進路」は、必ずしも高校や大学への進学のみではないことに注意が必要です。例えば、不登校児支援のプログラムによっては、学校教育システムへの復帰を目標としない場合もあり、具体的な「進路」の内容については事業によって明確化させることが重要です。

なお、不登校児への支援を行う事業者では、「希望する進路の選択」につながる具体的な行動変化のアウトカムとして、「家庭・学校での行動変化」として「内在化・外在化問題行動の改善」があります。

II.2.3. 最終アウトカム

本評価ツールでは、II.1.で述べたとおり、直接アウトカムや中間アウトカムの結果として期待される長期的なアウトカムとして「自立」を設定しています³。「自立」は、一般的には「経済的自立」、「生活自立」、「精神的自立/心理的自立」に分解することができます。具体的にこういった意味での自立を

² 「自己肯定感」は自尊心や自尊感情とも言い、「その本人の自分自身の価値に関する感覚」を指し、「自己効力感」は「外界の事柄に対し自分がなんらかの働きかけをすることが可能であるという感覚」、または「自分にはある目標に到達するための能力があるという感覚」を指します。

³ 文献調査やインタビューを実施した事業者では、組織のビジョンに近い長期的なアウトカムでは多様性があり、全ての事業者に共通するアウトカムの設定は困難でした。一方で、例えばいわゆる「貧困の連鎖」を断ち切ることを目的とし学習支援を行う事業者は、「経済的自立」を長期的なアウトカムとすることで共通していました。また、社会教育を行う事業者や不登校児支援を行う事業者では「精神的自立」を長期的なアウトカムとして設定している場合があります。こうしたことから、本評価ツールでは長期的なアウトカムを「自立」としました。

目指すかは、事業者によって異なります。例えば、貧困の世代間連鎖を断ち切ることを目的に活動している事業者では「経済的自立」が最終アウトカムになると考えられますが、不登校児支援を行っている事業者では、「生活自立」や「精神的自立」が最終アウトカムになるかもしれません。

本評価ツールでは、同じくもう一つの長期的なアウトカムとして、「社会参加」を最終アウトカムとして設定しました。

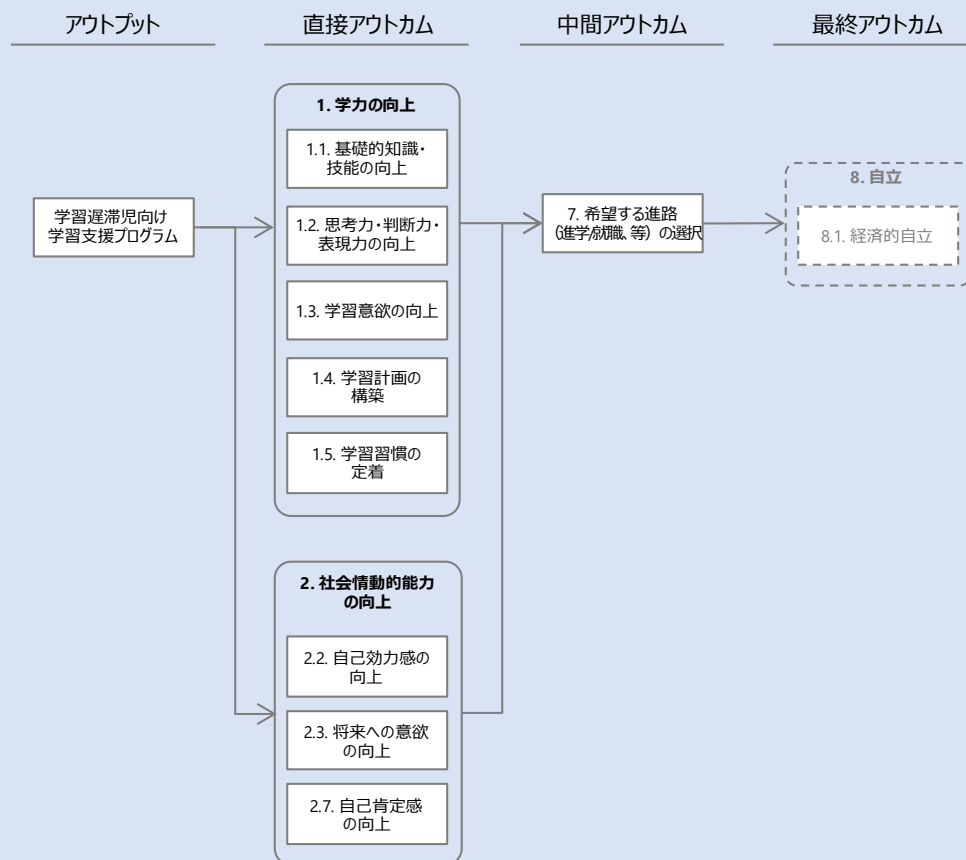
ロジック・モデルの例

特定非営利活動法人 A：生活困窮世帯の学習遅滞児向け学習支援事業

特定非営利活動法人 A は、経済的に困窮した家庭で学習遅滞を抱える子どもを主たる対象とし、自治体や学校と連携しながら学習支援を行う団体です。具体的には、長期では週 1 回、2~3 ヶ月間の指導、短期では 5 日間連続でのプログラムを、困難を抱えた子どもたちへ提供しています。小学校高学年～中学生を対象に、主に英語と数学（算数）を指導してします。毎回の指導後には、リフレクションセッション（内省をする時間）を設けています。

特定非営利活動法人 A では、子どものつまづきや学習スタイルに応じた個別指導を行い学習計画作りから支援を行うとともに、講師となる大学生との出会いを通じて人生の新たな可能性を発見するロールモデルを提供し、将来への意欲の向上も目指しています。

本事業のロジック・モデルは以下のように表現することができます。



III. アウトカムを測定する方法を決める

社会的インパクト評価ツールセット実践マニュアル 「Step 4: 指標・測定方法を考える」 参照

「II. ロジック・モデルをつくる」で挙げたアウトカムを測定するためには、一般的には図表3に示すような指標、測定方法が有用です。

なお、以降で示す指標とその測定方法は、あくまで例を示したものであり、必ずこの指標や測定方法を用いて評価を行わなければならないわけではありません。評価を事業改善といった内部向けの目的で行う場合は、既存の指標や測定方法を用いるよりも、自団体が目指す具体的なアウトカムの内容に応じて、以降で例示されている指標や測定方法以外のものを用いるのはもちろんのこと、例示されている測定方法の質問項目を変えることが望ましい場合もあります。

以降で例示されている指標や測定方法は特定の価値判断を暗黙のうちに前提としている場合があります。評価を実施する目的を明確化した上で、以降に例示されている指標や測定方法、具体的な質問項目を確認し、自団体が考える価値、アウトカムを測定する上で適切かどうかを判断してください。

また、最終アウトカムについては、その実現までに長期間を要するものも多く、指標を設定することが難しかったり、仮に指標を設定し測定することができてもその変化に事業が「貢献」したことを評価することが難しかったりする場合がほとんどです。ただし、そうだとすると事業の最終的な目的を明確化するためにも、最終アウトカムをロジック・モデルとして明確化することは重要だと考えます。

図表 3: アウトカム指標と測定方法の一覧

アウトカムのカテゴリ	詳細アウトカム	指標	詳細掲載ページ
1. 学力の向上	1.1. 基礎的知識・技能の向上	教科の知識・技能を問うペーパーテストの点数	P.10
	1.2. 思考力・判断力・表現力の向上	教科の知識・技能の活用を問うペーパーテストの点数	P.11
	1.3. 学習意欲の向上	学習に対する関心・意欲の程度	P.12
		学習意欲に関する心理尺度の点数	P.14
	1.4. 学習計画の構築	学校外における学習計画の状況	P.16
	1.5. 学習習慣の定着	学校外における学習の状況	P.17
2. 社会情動的能力の向上	2.1. 忍耐力の向上	やりぬく力（Grit）に関する心理尺度の点数	P.18
		自己統制に関する心理尺度の点数	P.19
	2.2 自己効力感の向上	自己効力感に関する心理尺度の点数	P.20
	2.3 将来への意欲の向上	将来に関する意識の程度	P.21
	2.4 自己表現力の向上	言語活動の状況	P.23
		表現力に関する心理尺度の点数	P.24
	2.5 他者を尊重/配慮する力の向上	外向性・協調性に関する心理尺度の点数	P.25
		共感性に関する心理尺度の点数	P.26
		他者受容に関する心理尺度の点数	P.27
	2.6 寛容性の向上	寛容性に関する心理尺度の点数	P.28
	2.7 自己肯定感の向上	自己肯定感に関する心理尺度の点数	P.29
			P.30
		自尊意識の程度	P.31
-	3. ライフ・キャリア設計力の向上	キャリア意識に関する尺度の点数	P.32
-	4. 健康・体力の向上	-	-
5. 家庭・学校における行動の改善	5.1. 内在化・外在化問題行動の改善	-	-
-	6. 向社会性の向上	向社会性に関する尺度の点数	P.34
-	7. 希望する進路の選択	-	-
8. 自立	8.1. 経済的自立	-	-
	8.2. 生活自立	-	-
	8.3. 精神的自立	-	-
-	9. 社会参加	地域との関わり/社会に関する興味関心の程度	P.36

※指標が「-」になっているものは、これまでの文献調査・インタビュー調査を通じて一般的な測定方法が確認できなかったものです（一般的な測定方法が存在しないということではありません）。

アウトカム 1.1. 基礎的知識・技能の向上

指標 教科の知識・技能を問うペーパーテストの点数

測定方法 全国学力・学習状況調査（教科に関する調査）

文部科学省が毎年実施している全国学力・学習状況調査の教科に関する調査は、国語/算数・数学/理科について、学力（基本的知識やその活用）を測定するための調査です。小学校 6 年生、および中学校 3 年生を対象としています。

文部科学省では、国全体、各都道府県、地域の規模等における調査結果を公表しています

出所：

文部科学省「全国的な学力調査（全国学力・学習状況調査等）：全国学力・学習状況調査の概要」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/1344101.htm

国立教育政策研究所「教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」」

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

	科目
小学校（6 年生対象）	国語 A, 国語 B, 算数 A, 算数 B, 理科
中学校（3 年生対象）	国語 A, 国語 B, 算数 A, 算数 B, 理科

※試験問題は出所に記載した国立政策研究所ホームページで閲覧、ダウンロードが可能です。

※教科に関する調査の概要

調査対象：小学校第 6 学年の児童及び中学校第 3 学年の生徒を対象に実施

出題範囲：調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則

出題内容：「知識」と「活用」の 2 種類の問題を出題

主として「知識」→国語 A, 算数 A, 数学 A, 理科

身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

主として「活用」→国語 B, 算数 B, 数学 B, 理科

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

※理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う。

アウトカム 1.2. 思考力・判断力・表現力の向上

指標 教科の知識・技能の活用を問うペーパーテストの点数

測定方法 標準型学力検査 教研式 NRT/教研式 CRT

教研式 NRT/教研式 CRT は、図書文化社が提供している、学習指導要領に準拠した形で、国語/社会/算数/理科等の教科について、学力を測定することのできる検査です。小学生（1年生～6年生）、中学生（1年生～3年生）に対応しています。

出所：

図書文化社「教育・心理検査：NRT」<http://www.toshobunka.co.jp/examination/nrt.php>

図書文化社「教育・心理検査：CRT」<http://www.toshobunka.co.jp/examination/crt.php>

※有料のため、検査項目は非公開。

問合せ先：

株式会社 図書文化社

TEL: 03-3943-2511 FAX: 03-3943-2519

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-4-15

アウトカム 1.3. 学習意欲の向上

指標 学習に対する関心・意欲の程度

測定方法 全国学力・学習状況調査（質問紙調査）

文部科学省が毎年実施している全国学力・学習状況調査の質問紙調査には、学習意欲や学習時間等、自尊意識や将来に関する意識など、幅広い項目に関する質問が含まれています。学習に対する関心・意欲の程度についても関連する質問項目がありますので参考になります。質問紙は出所に記載した国立政策研究所ホームページで閲覧、ダウンロードが可能です。

また、文部科学省では、調査結果を公表しており、質問紙調査については質問項目ごとの回答数・回答割合を見ることができます。

出所：

文部科学省「全国的な学力調査（全国学力・学習状況調査等）：全国学力・学習状況調査の概要」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/1344101.htm

国立教育政策研究所「教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」」

<http://www.nier.go.jp/kaiatsu/zenkokugakuryoku.html>

	質問番号	
全国学力・学習状況調査 10 年目の経年変化の把握	小学校調査	20, 27, 28, 41, 42, 44
	中学校調査	20, 27, 28, 41, 42, 44
主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況	小学校調査	46-52, 58, 59, 66-68
	中学校調査	46-52, 58, 59, 66-68
学習評価の在り方	小学校調査	32, 33
	中学校調査	32, 33
ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間	小学校調査	4-6, 9, 31, 34, 35, 39, 43, 56
	中学校調査	4-6, 9, 31, 34, 35, 39, 43, 56
学習に対する関心・意欲・態度（国語）	小学校調査	61-63, 65, 69, 70, 82, 83

	中学校調査	61-63, 65, 69, 70, 82, 83
学習に対する関心・意欲・態度（算数・数学）	小学校調査	71-81, 84, 85
	中学校調査	71-81, 84, 85
学習に対する関心・意欲・態度（総合的な学習の時間）	小学校調査	45
	中学校調査	45
学習状況（言語活動）	小学校調査	7, 8, 57
	中学校調査	7, 8, 57
学習状況（指導状況）	小学校調査	53-55, 60
	中学校調査	53-55, 60
学習時間等	小学校調査	14-18, 21-25, 64
	中学校調査	14-18, 21-25, 64
学校生活等	小学校調査	26, 29, 30, 40
	中学校調査	26, 29, 30, 40
基本的生活習慣	小学校調査	1-3, 10-13
	中学校調査	1-3, 10-13
家庭でのコミュニケーション等	小学校調査	19
	中学校調査	19
社会に対する興味・関心	小学校調査	36-38
	中学校調査	36-38

出所：上記質問の分類は、文部科学省「平成 28 年度全国学力・学習状況調査報告書（質問紙調査）」

アウトカム 1.3. 学習意欲の向上

指標 学習意欲に関する心理尺度の点数

測定方法 学習意欲尺度

学習意欲尺度は、真田らによって開発された、「学習への動機を選択して、それを実現しようとする欲求・意思」を測定するための、22 項目からなる尺度です。

出所：

真田 穰人, 浅川 潔司, 佐々木 聡, 貴村 亮太 (2014) 「児童の学習意欲の形成に関する学校心理学的研究：学習規律と学級適応感との関連について」兵庫教育大学 教育実践学論集, 第 15 号, 27-38.

	よく あてはまる	かなり あてはまる	すこし あてはまる	あてはまら ない
1. 先生の説明や友だちの意見に相づちをうつことができてい る。	☐	☐	☐	☐
2. 先生の話や友だちの意見について、なるほどと思った時に うなづくことができています。	☐	☐	☐	☐
3. わからないときは、先生に質問することができています。	☐	☐	☐	☐
4. 次に何をすればいいかわからないときは、先生に質問する ことができています。	☐	☐	☐	☐
5. 授業中、授業に関係のない話はしていない。	☐	☐	☐	☐
6. 授業開始のチャイムが鳴ったら、すぐに着席することがで きています。	☐	☐	☐	☐
7. 授業が始まったら、すぐにノートをとることができてい る。	☐	☐	☐	☐
8. 授業で出された問題や課題をうまくできると思う。	☐	☐	☐	☐
9. 授業の内容を予習することができています。	☐	☐	☐	☐
10. 自分の意見を発表することができています。	☐	☐	☐	☐
11. 先生の指示にすぐに従うことができています。	☐	☐	☐	☐
12. 課題にすぐに取り組むことができています。	☐	☐	☐	☐
13. 1 人で課題に取り組む時間に、1 人で集中して課題に取組 むことができています。	☐	☐	☐	☐

14. むずかしい課題にもあきらめずに取り組むことができている。	☐	☐	☐	☐
15. 学校の授業は楽しい。	☐	☐	☐	☐
16. 勉強の仕方が上手だと思う。	☐	☐	☐	☐
17. 良い成績を取ることができると思う。	☐	☐	☐	☐
18. 次の学習に備えて、宿題をきちんとする。	☐	☐	☐	☐
19. 授業の内容は興味がわき、ひきつけられる。	☐	☐	☐	☐
20. クラスで学ぶ雰囲気はいごちがよい。	☐	☐	☐	☐
21. 授業で学力がついていると感じる。	☐	☐	☐	☐
22. 授業の終わりに、次の授業も頑張ろうと思う。	☐	☐	☐	☐

* よくあてはまる=4, かなりあてはまる=3、すこしあてはまる=2、あてはまらない=1 で点数化。

アウトカム 1.4. 学習計画の構築

指標 学校外における学習計画の状況

測定方法 全国学力・学習状況調査（質問紙調査）

文部科学省が毎年実施している全国学力・学習状況調査の質問紙調査には、学習意欲や学習時間等、自尊意識や将来に関する意識など、幅広い項目に関する質問が含まれています。学習計画の状況についても関連する質問項目がありますので参考になります。質問紙は出所に記載した国立政策研究所ホームページで閲覧、ダウンロードが可能です。

また、文部科学省では、調査結果を公表しており、質問紙調査については質問項目ごとの回答数・回答割合を見ることができます。

出所：

文部科学省「全国的な学力調査（全国学力・学習状況調査等）：全国学力・学習状況調査の概要」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/1344101.htm

国立教育政策研究所「教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」」

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

※質問項目の概要は P.12 を参照。

アウトカム 1.5. 学習習慣の定着

指標 学校外における学習の状況

測定方法 全国学力・学習状況調査（質問紙調査）

文部科学省が毎年実施している全国学力・学習状況調査の質問紙調査には、学習意欲や学習時間等、自尊意識や将来に関する意識など、幅広い項目に関する質問が含まれています。学校外における学習についても関連する質問項目がありますので参考になります。質問紙は出所に記載した国立政策研究所ホームページで閲覧、ダウンロードが可能です。

また、文部科学省では、調査結果を公表しており、質問紙調査については質問項目ごとの回答数・回答割合を見ることができます。

出所：

文部科学省「全国的な学力調査（全国学力・学習状況調査等）：全国学力・学習状況調査の概要」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/1344101.htm

国立教育政策研究所「教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」」

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

※質問項目の概要は P.12 を参照。

アウトカム 2.1. 忍耐力の向上

指標 やりぬく力（Grit）に関する心理尺度の点数

測定方法 日本語版 ShortGrit（Grit-S）尺度

Duckworth&Quinn（2009）による 8 項目版の ShortGrit（Grit-S）尺度の日本語版。

出所：

西川一二、奥上紫緒里、雨宮俊彦（2015）「日本語版 ShortGrit(Grit-S)尺度の作成」パーソナリティ研究 24(2),167-169.

	当てはまる	やや 当てはまる	どちらとも 言えない	やや当ては まらない	当てはまらな い
1. 始めたことは何であれやり遂げる。	☐	☐	☐	☐	☐
2. 頑張りやである。	☐	☐	☐	☐	☐
3. 終わるまでに何カ月もかかる計画にずっと興味を持続けるのは難しい	☐	☐	☐	☐	☐
4. 私は困難にめげない	☐	☐	☐	☐	☐
5. 物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう	☐	☐	☐	☐	☐
6. いったん目標を決めてから、後になって別の目標に変えることがよくある	☐	☐	☐	☐	☐
7. 勤勉である	☐	☐	☐	☐	☐
8. 新しいアイデアや計画を思いつくと、以前の計画から関心がそれる	☐	☐	☐	☐	☐

* 当てはまる=5、やや当てはまる=4、どちらとも言えない=3、やや当てはまらない=2、当てはまらない=1 で点数化。

アウトカム 2.1. 忍耐力の向上

指標 自己統制に関する心理尺度の点数

測定方法 コミュニケーション・スキル尺度 ENDCOREs

コミュニケーション・スキルを6つのスキル（自己統制、表現力、解読力、自己主張、他受容、関係調整）に分解して測定する尺度。自己統制については、「欲求抑制」、「感情統制」、「道德観念」、「期待応諾」の4つの項目により測定。

出所：

藤本学、大坊郁夫（2007）「コミュニケーション・スキルに関する諸因子の階層構造への統合の試み」
パーソナリティ研究 15(3),347-361.

	かなり得意	得意	やや得意	ふつう	やや苦手	苦手	かなり苦手
欲求抑制：							
1. 自分の衝動や欲求を抑える	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
感情統制：							
2. 自分の感情をうまくコントロールする	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
道德観念：							
3. 善悪の判断に基づいて正しい行動を選択する	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
期待応諾：							
4. まわりの期待に応じた振る舞いをする	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

* かなり得意=7, 得意=6、やや得意=5、ふつう=4、やや苦手=3、苦手=2、かなり苦手=1 で点数化。

アウトカム 2.2. 自己効力感の向上

指標 自己効力感に関する心理尺度の点数

測定方法 一般性セルフ・エフィカシー尺度

一般性セルフ・エフィカシー尺度（General Self-Efficacy Scale: GSES）は、国内での認知行動療法分野を中心に用いられている、自己効力感の程度を測定するための 16 項目からなる尺度です。児童用には、18 項目からなる尺度（General Self-Efficacy Scale for Children-Revised: GSESC-R）が用いられます。

出所：

Bandura, A.（1985）「自己効力感（セルフ・エフィカシー）の探求」, 祐宗省三ほか編著『社会的学習理論の新展開』金子書房.

坂野 雄二, 東條 光彦（1986）「一般性セルフ・エフィカシー尺度の妥当性の検証」早稲田大学人間科学研究, 2, 91-98.

※有料のため、質問項目は非公開。

問合せ先：

ころねっと株式会社

TEL：0422-24-7129 / FAX：0422-24-7146

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町 1-18-7 アベータ吉祥寺 1F

アウトカム 2.3. 将来への意欲の向上

指標 将来に関する意識の程度

測定方法 全国学力・学習状況調査（質問紙調査）

文部科学省が毎年実施している全国学力・学習状況調査の質問紙調査には、学習意欲や学習時間等、自尊意識や将来に関する意識など、幅広い項目に関する質問が含まれています。将来に関する意識の知度については、下記の質問項目があります。

文部科学省では、調査結果を公表しており、質問紙調査については質問項目ごとの回答数・回答割合を見ることができます。

出所：

文部科学省「全国的な学力調査（全国学力・学習状況調査等）：全国学力・学習状況調査の概要」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/1344101.htm

国立教育政策研究所「教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」」

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

	当てはまる	どちらかとい えば、 当てはまる	どちらかとい えば、当ては まらない	当てはまら ない
1. 将来の夢や目標を持っている	☐	☐	☐	☐

※小学生用質問紙調査 質問 No.9

※中学生用質問紙は出所に記載した国立政策研究所ホームページで閲覧、ダウンロードが可能です。

その他参考測定方法

測定方法 NPC 将来の意欲尺度

英国のシンクタンクであるニュー・フィランソロピー・キャピタル（New Philanthropy Capital: NPC）が開発した、将来への意欲（aspirations for the future）を測定するための 3 項目からなる尺度です。

※日本語版は、学術的に信頼性・妥当性を検証されていないため、あくまで参考として下さい。

出所：

Inspiring Impact (2014) “The Journey to Employment (JET) Framework”.

	強くそう 思う	そう思う	どちらとも もいえない	そう 思わない	まったくそう 思わない
1. 自分の将来について肯定的に感じる。	☐	☐	☐	☐	☐
2. 将来に向けた計画を立てることは時間の無駄である。	☐	☐	☐	☐	☐
3. 自分がやりたいことを実現できると思う。	☐	☐	☐	☐	☐

* 強くそう思う=5, そう思う=4、どちらともいえない=3、そう思わない=2、まったくそう思わない=1 で点数化（質問項目 2 については、強くそう思う=1, そう思う=2、どちらともいえない=3、そう思わない=4、まったくそう思わない=5）。

アウトカム 2.4. 自己表現力の向上

指標 言語活動の状況

測定方法 全国学力・学習状況調査（質問紙調査）

文部科学省が毎年実施している全国学力・学習状況調査の質問紙調査には、学習意欲や学習時間等、自尊意識や将来に関する意識など、幅広い項目に関する質問が含まれています。言語活動の状況についても関連する質問項目がありますので参考になります。質問紙は出所に記載した国立政策研究所ホームページで閲覧、ダウンロードが可能です。

また、文部科学省では、調査結果を公表しており、質問紙調査については質問項目ごとの回答数・回答割合を見ることができます。

出所：

文部科学省「全国的な学力調査（全国学力・学習状況調査等）：全国学力・学習状況調査の概要」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/1344101.htm

国立教育政策研究所「教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」」

<http://www.nier.go.jp/kaiatsu/zenkokugakuryoku.html>

※質問項目の概要は P.12 を参照。

アウトカム 2.4. 自己表現力の向上

指標 自己統制に関する心理尺度の点数

測定方法 コミュニケーション・スキル尺度 ENDCOREs

コミュニケーション・スキルを6つのスキル（自己統制、表現力、解読力、自己主張、他受容、関係調整）に分解して測定する尺度。表現力については、「言語表現」、「身体表現」、「表情表現」、「情緒伝達」の4つの項目により測定。

出所：

藤本学、大坊郁夫（2007）「コミュニケーション・スキルに関する諸因子の階層構造への統合の試み」
パーソナリティ研究 15(3),347-361.

	かなり得意	得意	やや得意	ふつう	やや苦手	苦手	かなり苦手
言語表現：							
1. 自分の考えを言葉でうまく表現する	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
身体表現：							
2. 自分の気持ちをしぐさでうまく表現する	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
表情表現：							
3. 自分の気持ちを表情でうまく表現する	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
情緒伝達：							
4. 自分の感情や心理状態を正しく察してもらう	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

* かなり得意=7, 得意=6、やや得意=5、ふつう=4、やや苦手=3、苦手=2、かなり苦手=1 で点数化。

アウトカム 2.5. 他者を尊重/配慮する力の向上

指標 外向性・協調性に関する心理尺度の点数

測定方法 日本語版 Ten Item Personality Inventory

日本語版 Ten Item Personality Inventory (TIPI-J) は、国内外で広く用いられているビッグ・ファイブと呼ばれる非認知能力（外向性、協調性、勤勉性、神経症傾向、開放性）を測定するための、10項目からなる尺度です。

出所：

Gosling, S.D., Rentfrow, P.J., and Swann, W.B., Jr. (2003) "A very brief measure of the Big-Five personality domains", *Journal of Research in Personality*, 37, 504–528.

小塩 真司, 阿部 晋吾, カトロニー・ピノ (2012) 「日本語版 Ten Item Personality Inventory(TIPI-J) 作成の試み」 *パーソナリティ研究*, 21, 40-52.

	強くそう 思う	まあまあ そう思う	少しそう 思う	どちらで もない	少し違う と思う	おおよそ 違うと思う	全く違う と思う
1. 活発、外向的だと思う。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. 他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. しっかりしていて、自分に厳しいと思う。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. 心配性で、うろたえやすいと思う。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. 新しいことが好きで、変わった考えをもつと思う。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. ひかえめで、おとなしいと思う。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. 人に気をつかう、やさしい人間だと思う。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8. だらしなく、うっかりしていると思う。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
9. 冷静で、気分が安定していると思う。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
10. 発想力に欠けた、平凡な人間だと思う。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

* 強くそう思う=7, まあまあそう思う=6, 少しそう思う=5, どちらでもない=4, 少し違うと思う=3, おおよそ違うと思う=2, 全く違うと思う=1 で点数化。

** 外向性、協調性、勤勉性、神経症傾向、開放性それぞれの点数の算出方法はマニュアル (http://jspp.gr.jp/doc/manual_TIPI-J.pdf) 参照。

アウトカム 2.5. 他者を尊重/配慮する力の向上

指標 認知的共感性に関する心理尺度の点数

測定方法 共感性尺度

情緒的共感性と認知的共感性を測定する尺度。認知的共感性については、以下の項目により測定。

出所：

小池はるか(2003)「共感性尺度の再構成―場面想定法に特化した共感性尺度の作成―」

	よく あてはまる	少し あてはまる	あまりあては まらない	まったくあて はまらない
1. どんな問題にも2つの側面があるから、その両面を見るように努めている	☐	☐	☐	☐
2. 人と意見が合わない時には、その人がそうした意見を持つ理由を心の中であれこれと考えてみる	☐	☐	☐	☐
3. 友だちのすることを理解しようとするときには、向こうから見るとどう見えるのかを想像することがある	☐	☐	☐	☐
4. 非常に不機嫌そうな人に会おうと、私がもしその人だったらどんな感じをもつだろうか考えてみる	☐	☐	☐	☐
5. 物事を決めるには、みんなの反対意見をよく聞いてからにしようとする	☐	☐	☐	☐
6. 自分が正しいと確信している場合には、他人の意見を聞くのに時間を使ったりしない（逆転項目）	☐	☐	☐	☐

※よくあてはまる=4、少しあてはまる=3、あまりあてはまらない=2、まったくあてはまらない=1で点数化。

アウトカム 2.5. 他者を尊重/配慮する力の向上

指標 他者受容に関する心理尺度の点数

測定方法 コミュニケーション・スキル尺度 ENDCOREs

コミュニケーション・スキルを6つのスキル（自己統制、表現力、解読力、自己主張、他受容、関係調整）に分解して測定する尺度。他者受容については、「共感性」、「友好性」、「譲歩」、「他者尊重」。

出所：

藤本学、大坊郁夫（2007）「コミュニケーション・スキルに関する諸因子の階層構造への統合の試み」
パーソナリティ研究 15(3),347-361.

	かなり得意	得意	やや得意	ふつう	やや苦手	苦手	かなり苦手
共感性：							
1. 相手の意見や立場に共感する	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
友好性：							
2. 友好的な態度で相手に接する	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
譲歩：							
3. 相手の意見をできるかぎり受け入れる	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
他者尊重：							
4. 相手の意見や立場を尊重する	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

* かなり得意=7, 得意=6、やや得意=5、ふつう=4、やや苦手=3、苦手=2、かなり苦手=1 で点数化。

アウトカム 2.6. 寛容性の向上

指標 寛容性に関する心理尺度の点数

測定方法 寛容性尺度

出所：

片岡えみ(2016)「信頼社会—寛容性とソーシャル・キャピタル」

	よく あてはまる	少し あてはまる	あまりあては まらない	まったくあて はまらない
1. 自分の考え方や好み、やり方が違うからと言って、その人を遠ざけることはしない	☐	☐	☐	☐
2. 考え方や価値観の合わない人とは付き合わないようになっている（逆転項目）	☐	☐	☐	☐

※よくあてはまる=4、少しあてはまる=3、あまりあてはまらない=2、まったくあてはまらない=1 で点数化。

アウトカム 2.7. 自己肯定感の向上

指標 自己肯定感に関する心理尺度の点数

測定方法 ローゼンバーグ自尊感情尺度

ローゼンバーグ自尊感情尺度（Rosenberg's Self Esteem Scale: RSES）は、国内外で広く用いられている、自己肯定感の程度を測定するための 10 項目からなる尺度です。

出所：

Rosenberg, M. (1965) *Society and the adolescent self-image*. Princeton, NJ: Princeton University

Press:

http://fetzer.org/sites/default/files/images/stories/pdf/selfmeasures/Self_Measures_for_Self-Esteem_ROSENBERG_SELF-ESTEEM.pdf

内田 智宏, 上埜 高志 (2010) 「Rosenberg 自尊感情尺度の信頼性および妥当性の検討：Mimura & Griffiths 訳の日本語版を用いて」東北大学大学院教育学研究科研究年報, 第 58 集・第 2 号.

	強くそう思う	そう思う	そう思わない	強くそう 思わない
1. 私は、自分自身にだいたい満足している。	☐	☐	☐	☐
2. 時々、自分はまったくダメだと思うことがある。	☐	☐	☐	☐
3. 私には、けっこう長所があると感じている。	☐	☐	☐	☐
4. 私は、他の大半の人と同じくらいに物事がこなせる。	☐	☐	☐	☐
5. 私には誇れるものが大してないと感じる。	☐	☐	☐	☐
6. 時々、自分は役に立たないと強く感じることもある。	☐	☐	☐	☐
7. 自分は少なくとも他の人と同じくらい価値のある人間だと感じる。	☐	☐	☐	☐
8. 自分のことをもう少し尊敬できたらいいと思う。	☐	☐	☐	☐
9. よく、私は落ちこぼれだと思ってしまう。	☐	☐	☐	☐
10. 私は、自分のことを前向きに考えている。	☐	☐	☐	☐

* 強くそう思う=4, そう思う=3, そう思わない=2, 強くそう思わない=1 で点数化（質問項目 2, 5, 6, 8, 9 については、強くそう思う=1, そう思う=2, そう思わない=3, 強くそう思わない=4）。

アウトカム 2.7. 自己肯定感の向上

指標 自己肯定感に関する心理尺度の点数

測定方法 2 項目自尊感情尺度

2 項目自尊感情尺度は、自尊感情概念の 2 側面（「評価的側面」および「受容的側面」）を測定するそれぞれ 1 項目からなる尺度です。

本尺度は、回答者の負担をできるだけ小さくするため、ローゼンバーグ自尊感情尺度をもとに、2 項目の尺度として作成されたものです。

出所：

箕浦 有希久, 成田 健一（2013）「2 項目自尊感情尺度の提案：評価と受容の 2 側面に注目して」関西学院大学人文論究, 63(1), 129-147.

	とてもよく あてはまる	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまら ない	まったくあて はまらない
1. 自分にはいろいろな良い素質があると思う。	☐	☐	☐	☐	☐
2. 自分のことを好ましく感じる。	☐	☐	☐	☐	☐

* とてもよくあてはまる=5, あてはまる=4、どちらともいえない=3、あてはまらない=2、まったくあてはまらない=1 で点数化。

アウトカム 2.7. 自己肯定感の向上

指標 自尊意識の程度

測定方法 全国学力・学習状況調査（質問紙調査）

文部科学省が毎年実施している全国学力・学習状況調査の質問紙調査には、学習意欲や学習時間等、自尊意識や将来に関する意識など、幅広い項目に関する質問が含まれています。自尊意識の程度についても関連する質問項目がありますので参考になります。質問紙は出所に記載した国立政策研究所ホームページで閲覧、ダウンロードが可能です。

文部科学省では、調査結果を公表しており、質問紙調査については質問項目ごとの回答数・回答割合を見ることができます。

出所：

文部科学省「全国的な学力調査（全国学力・学習状況調査等）：全国学力・学習状況調査の概要」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/1344101.htm

国立教育政策研究所「教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」」

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

※質問項目の概要は P.12 を参照。

アウトカム 3. ライフ・キャリア設計力の向上

指標 キャリア意識に関する尺度の点数

測定方法 キャリア意識の発達に関する効果測定テスト

(キャリア・アクション・ビジョン・テスト：CAVT)

出所：

下村英雄、八幡成美、梅崎修、田澤実（2009）「大学生のキャリアガイダンスの効果測定用テストの開発」キャリアデザイン研究,5,127-139.

	かなり できている	やや できている	どちらもと も言えない	あまりでき ていない	できていない
1.将来のビジョンを明確にする	☐	☐	☐	☐	☐
2.学外の様々な活動に熱心に取り組む	☐	☐	☐	☐	☐
3.将来の夢をはっきりさせ目標を立てる	☐	☐	☐	☐	☐
4.尊敬する人に会える場に積極的に参加する	☐	☐	☐	☐	☐
5.将来、具体的に何をやりたいかを見つける	☐	☐	☐	☐	☐
6.人生に役立つスキルを身につける	☐	☐	☐	☐	☐
7.将来に備えて準備する	☐	☐	☐	☐	☐
8.様々な人に出会い人脈を広げる	☐	☐	☐	☐	☐
9.将来のことを調べて考える	☐	☐	☐	☐	☐
10.何ごとにも積極的に取り組む	☐	☐	☐	☐	☐
11.自分が本当にやりたいことを見つける	☐	☐	☐	☐	☐

12.様々な視点から物事を見られる人間になる

☐☐☐☐☐

* かなりできている=5, ややできている=4、どちらとも言えない=3、あまりできていない=2、できていない=1 で点数化。

アウトカム 6. 向社会性の向上

指標 向社会性に関する尺度の点数

測定方法 向社会的行動尺度（中高生版）

全 20 項目からなる尺度。援助行動や親切行動などの向社会的行動の経験頻度を自己報告により測定。

出所：

横塚怜子（1989）「向社会的行動尺度（中高生版）作成の試み」教育心理学研究,37,158-162.

質問項目の例

	いつも やった	しばしば やった	数回やった	1 度やった	やったことが ない
1. 家族のものがぐあいの悪いとき、看病した。	☐	☐	☐	☐	☐
2. 友達がけがをしたり、病気の時、手当てをした。	☐	☐	☐	☐	☐
3. コーヒーやお茶を入れて家族をいたわった。	☐	☐	☐	☐	☐
4. 友達の荷物をもってやったり、傘に入れてやった。	☐	☐	☐	☐	☐
5. 家族のお祝いの日や誕生日などにプレゼントをした。	☐	☐	☐	☐	☐
6. 家族のために部屋を暖かくした。	☐	☐	☐	☐	☐
7. 歳末助け合いに協力した。	☐	☐	☐	☐	☐
8. まわりの人に元気に挨拶をしたり、話しかけたりした。	☐	☐	☐	☐	☐
9. 苦しい立場にある友達を親身になって助けた。	☐	☐	☐	☐	☐
10. 家族のためにお風呂をわかしてやった。	☐	☐	☐	☐	☐

- | | | | | | |
|------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 11. インドやアフリカを助ける募金に協力した。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 12. 母親の手伝いをした。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 13. 兄弟（姉妹）が困っているとき、手をかしてやった。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 14. 友達の悩みを聞いてやったり相談相手になった。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 15. 休んだ友達にノートを貸した。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 16. 友達に勉強を教えてやった。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 17. バザーや廃品回収に協力した。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 18. 家の掃除や片付けをした。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 19. 他人の失敗を笑ったりしないで励ましてやった。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 20. ゲームやスポーツのルールを教えてやった。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |

* いつもやった=5, ししばやった=4、数回やった=3、1度やった=2、やったことがない=1 で点数化。

アウトカム 9. 社会参加

指標 地域との関わりの程度 / 社会に関する興味関心の程度

測定方法 全国学力・学習状況調査（質問紙調査）

文部科学省が毎年実施している全国学力・学習状況調査の質問紙調査には、学習意欲や学習時間等、自尊意識や将来に関する意識など、幅広い項目に関する質問が含まれています。地域との関わりの程度や社会に関する興味関心の程度についても関連する質問項目がありますので参考になります。質問紙は出所に記載した国立政策研究所ホームページで閲覧、ダウンロードが可能です。

文部科学省では、調査結果を公表しており、質問紙調査については質問項目ごとの回答数・回答割合を見ることができます。

出所：

文部科学省「全国的な学力調査（全国学力・学習状況調査等）：全国学力・学習状況調査の概要」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/1344101.htm

国立教育政策研究所「教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」」

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

※質問項目の概要は P.12 を参照。

GSG 国内諮問委員会

社会的インパクト評価ワーキング・グループ

伊藤 健

石幡 愛

今田 克司

梅原 あすな

大沢 望

鴨崎 貴泰

川合 朋音

熊谷 薫

下田 聖実

藤田 滋

松田 典子

森田 修康

本ツールセット更新にご協力頂いた方々

敬称略

今井 悠介 公益社団法人チャンス・フォー・
チルドレン

久保田 淳 東京フットボールクラブ株式会社
(FC 東京)

栗田 拓 特定非営利活動法人トイボックス

阪中 真理 株式会社電通

瀬尾 隆史 公益社団法人日本環境教育フォー
ラム

高木 麻美 新日本有限責任監査法人

中島 悠生 認定特定非営利活動法人 Teach
for Japan

長浜 洋二 株式会社 PubliCo

松元 雄基 認定特定非営利活動法人カタリバ

お問い合わせ先

GSG 国内諮問委員会 事務局
一般財団法人社会的投資推進財団
03-6229-2622 / info@siif.or.jp